

別記様式

議 事 録

会議の名称	第4回 岩倉市公立保育園適正配置方針に係る懇話会
開催日時	平成30年4月17日(火)10時00分から12時00分まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	小松尚委員長、町田竜介委員、廣中大雄委員、中島正資委員、 今井希恵委員、岸野奈津美委員、渡邊亜希委員、寺澤あや委員、 社本真夕美委員、村瀬葉子委員、中島光恵委員 欠席委員：鎌倉博副委員長 説明者：副市長、教育こども未来部長、子育て支援課長、児童グループ長及び係 オブザーバー：都市整備課長、営繕グループ長及び係 コンサルタント：地域問題研究所
会議の議題	(1) 岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方(案)について ・特徴と課題 ・基本的な考え方
議事録の作成方法	<input type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された資料の名称	資料 岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方(案)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	3人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回岩倉市公立保育園適正化配置に係る懇話会を開催させていただきます。 ・指導保育士の定年退職により、新たに下寺保育園の園長を委員として迎えます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・年度が替わり委員の異動がありましたが、引き続きご意見をいただきながら進めたいと思います。今日からは、配置方針の考え方ということで、これからの計画について議論を始めていきます。よろしくお願いします。
2. 議題	
(1) 岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方(案)について	

○特徴と課題	
事務局より、資料「岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方（案）」に基づき、岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方（案）における特徴と課題について説明	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：2ページ③) 36パーセントが負担感を持っていますが、これは単に時間だけの問題ではなく、いろいろな問題があるのだろうと感じます。9分から10分で8割の園児が通園できていることから考えると、送迎そのものに対する回答とは限らないと思います。 ・(資料：2ページ⑤) 小学校区との一致については、必ずしも一致していないことが重要な計画課題にはなっていないと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から統廃合については、デメリットを感じる人が多いと認識していますが、そういった人たちから合意を得ることが必要になってくるため、課題とすべきだと思います。前は、私が西部保育園保護者という事もあって西部保育園のことを多く話させていただいたが、私の意見ではありますがニーズの高い園があることを書いていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合については、デメリットや不安の回答が多く見られたので、「特徴や課題」の部分に入れたいと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：3ページ) メリット、デメリットについては「今後の基本的な考え方」の部分で統廃合、複合化の話が出てきますので、整理が必要と考えます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：1ページ課題②) 「少人数保育の良さを活かしながらも、集団の中で」とあり、矛盾した内容となっています。また、この中では、少人数保育についての良さを列挙していないにも関わらず、少人数保育を課題として取り上げていることに疑問を感じます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、メリット、デメリット双方の意見があり、子どもの成長には集団生活も必要とする意見もあることから、(課題②2行目) 適正規模を確保していくとしています。今後、適正な規模を見極めていく必要があると考えます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士を確保できないという現実がある中、どちらかに振れると成り立たなくなる部分が出るため、どこかでバランスを取る必要があると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：1ページ課題④) 特徴と課題の中に支援児に対する保育士の加配について、付け加えていただけたらと思います。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として承知しています。公立について制度上は障害児4人に対し1人の配置となっていますが、実態はさらにパート保育士を付け2人に1人となっています。私立ではそのような配置は難しいことから、将来的にはその部分を公立が担うという使命感を持っています。今回の適正配置は、公立、私立を含めたものことから、その部分に特化することは問題をより、複雑化することになると考えます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童のカウントの仕方について、育児休業の延長はどのようになっているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業の延長は含めていません。

<p>○基本的な考え方</p> <p>事務局より、資料「岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方（案）」に基づき、岩倉市公立保育園適正配置方針の考え方（案）における基本的な考え方について説明</p>	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：3ページ基本的な考え方2) 小学校区を利用圏域としたエリアにバランスよく施設配置するとしていますが、アンケート結果からも小学校区との一致が最重要でない整理されていることから、この書き方に誤解を招かないようにしなければなりません。むしろ、人口バランスの方が問題と考えます。居住エリアや小学校区を考慮して配置するとした方がよいのではないのでしょうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は適正に配置されていることから、小学校区という言葉は外すことができませんでした。また、市の西側の公共施設との絡みから最終的にこの表現となりましたが、できれば取りたいのが本音です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公私連携型は今までの業務委託型とどのように違うのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施設や土地を貸し出し、借りる側は賃料を払うという形であり、例えば、土地の場合では、法人が借地料を払ってそこに施設を建て運営するということになります。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念は民間委託ですが、公の関与を強くするという考え方です。
地問研	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理制度だと期間の制約がありますが、この制度だと制約がなくなるということが大きな違いです。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を建てる際、公立では補助が付きませんが、民間では高い確率で付くことになり、有利な点だと言えます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：4ページ基本的な考え方5) 認定こども園は名称をこども園に統一するとなっていますが、保育所もこども園にするということでしょうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・公立の保育所もこども園に変えるということです。あくまで、案です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合に際し、質の部分も見据えてということでしたが、今回は量の部分だけを提示しているのでしょうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・質を抜きにして議論できないことは承知していますが、配置そのものが適正であるとする根拠がなければ、統廃合はできないので、まずは量をしっかり押さえるべきと考えます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・質の部分については、別のところで考えていただけるといいのでしょうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の役割として、この報告書の中に書くのが適切だと思います。検討させていただきます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：3ページ基本的な考え方3) 複数の課題の同時解決を目指すとのあるので、統廃合で規模が変われば質も影響されることから、質を向上させる方向での統廃合、複合化でなければ合意形成はできないと思います。 ・質に関する議論も当然入ってくることにはなりますが、議論の順序、バランスは考えなくてはなりません。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公私連携になることで、今まで公立保育所で担ってきたものが縮小するのではないかと懸念があります。 ・全てを公私連携型とするのか、一部は公立を残し、多様性を持たせるのか、考えをお聞かせください。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを公私連携型にする考えはありません。不足するところが統合によって解消されるのであれば、公私連携型で整備したいということです。 ・多様性については、保育指針に公立は園によって差があってはならないとなっていますので、公立では難しいものがあります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・複合化について、親和性の高い公共施設を共用し、その中で共通のプログラムを実施することで、特色にしようとする動きがあります。 ・多様性は、一定水準の上に付加されるものでなくてはなりません。 ・今後、多数の公共施設をどうするかといった中で保育所の適正配置ということで議論を進めていただけたらと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児について、現在、保育料の無償化が取り沙汰されている中、幼児の短時間認定でのカウントも載せていただきたいと思います。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園となると市外からも園児が多数入ってきており、複雑になることから皆さんの議論を待ちたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳から5歳は充実しており、1歳、2歳をどうにかしなければということだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料：3ページ基本的な考え方3) 複数の課題の解決という部分で、駐車場の確保は最優先で解決してほしい事項です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(保護者代表委員に対して) 近くでなくても駐車場があればそちらの園を選ばれますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ単に駐車場があるからだけでは選択対象とはなりません、車利用の方たちとしては、前提として確保してほしいと思います。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地では駐車場の確保は難しいものがあります。付近に公共施設があるところは、その駐車場を使ってもらうようにしています。 ・駐車場を確保するには経費がかかります。岩倉市は質の面に多額の経費を充てているので、更に駐車場ということになれば経費は膨らみます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保は課題として書いてありますが、充分確保することは現状では難しいということですか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の施設では難しいということです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合をすると規模は今より大きくなると考える保護者は多いと思いますが、駐車場の確保が伴っていないのでは現状と変わらないと思います。
地問研	<ul style="list-style-type: none"> ・こういった機会を捉えて課題を解決するといった意味での複数課題の解決だということです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の確保を解決するのであれば、郊外も考えなくてはならないということですか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の選択肢があり、どれを選択するかは合意形成だと思います。全てはバランスであり、今後、優先順位を決め、具体的に何をどの

	ように解決していくのかを議論していくことになると思います。
委員	・保育園の老朽化への対策として、統廃合が出てきたと認識していますが、そこに民間委託が出てきたことは驚きでした。
委員	・(資料：3 ページ基本的な考え方4) 公私連携型保育制度の活用を視野に入れた公立保育園の統廃合とありますが、この言葉がいきなり出てきたことに驚きを感じています。このように断言した書き方は誤解されると思います。 ・(資料：5 ページ) 小学校区は議論するが、中学校区はなぜ議論にならないのでしょうか。
委員	・公私連携型について、私立と公立の良さを取り入れるということも、ひとつの方法論としてあるのではないのでしょうか。
委員	・公私連携型は今回の会議で初めて出てきた文言だったので、驚いたということです。
委員	・保育園の適正規模をどのように捉えるべきかという部分で、少人数保育をどういった基準で捉えるかが難しい問題だと考えます。 ・量と質について、保育士としては質を大事にしたいと思います。
委員	・送迎について、遠方の保育園でも受け入れ時間を早くしてもらえれば可能だと思います。
委員	・駐車場については、送迎時間が重なっているので時間帯を広げることによって解消されるのではないのでしょうか。
3. その他 事務局より、懇談会及び次回の日程について調整 公立保育園と認定こども園の保護者等を対象にした懇談会を5月 26 日午後2時から岩倉市役所7階大会議室で開催することに決定。 次回の懇話会は、6月27日 午後1時30分から開催することに決定。	
事務局	・第4回岩倉市公立保育園適正化配置に係る懇話会を閉会させていただきます。